

報道関係者各位

2021年7月7日

道路維持管理におけるデジタル・トランスフォーメーション (DX) サービスの提供を開始します。

～増大する社会インフラ管理における自治体の働き方改革を支援します～

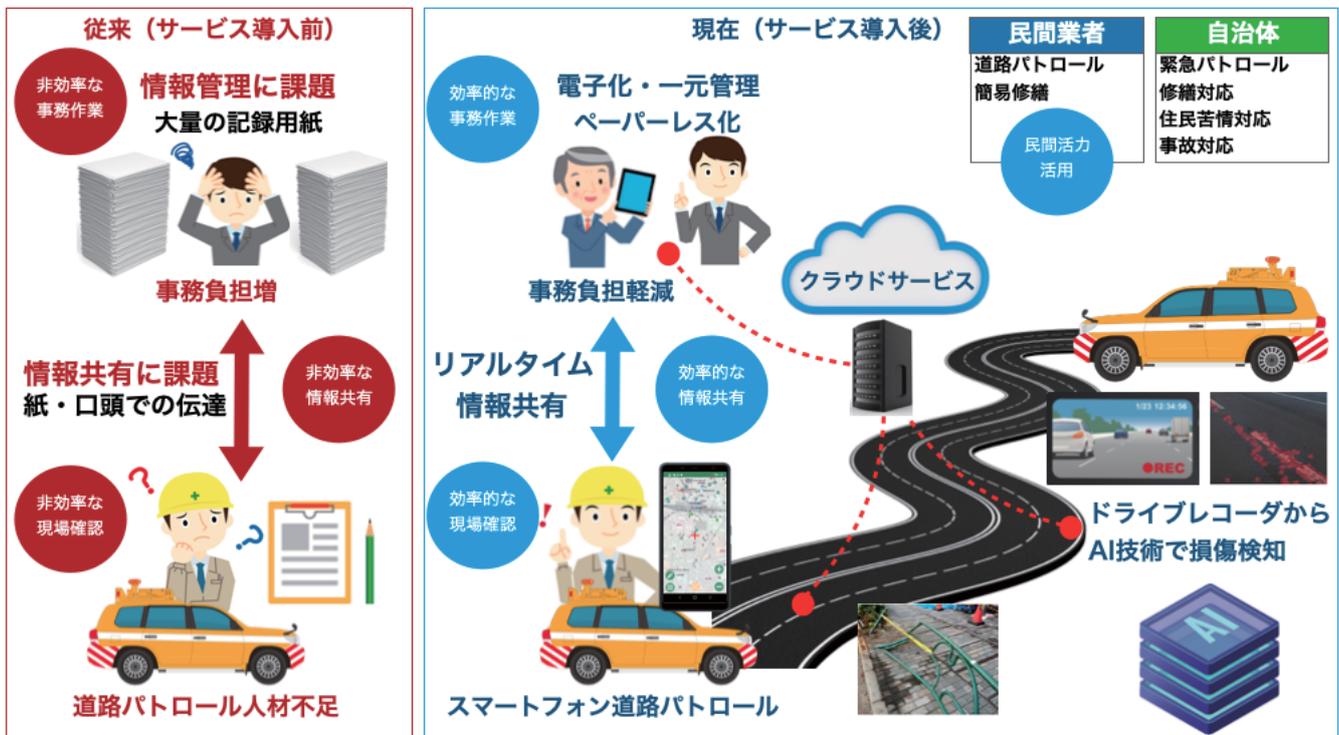
当社はこのほど、デジタル技術とデータを活用した、道路維持管理クラウドサービスを開発しました。本サービスを、増大する社会インフラ管理における自治体の働き方改革を実現するため全国販売を開始します。

■サービス概要

今回、当社開発のサービスは、「クラウド」・「AI」技術を組合せて道路維持管理に係る日常の維持管理データの「一元管理化」「迅速な情報連携」「情報の見える化」により、道路維持管理に係る自治体の働き方改革ならびに住民サービスの向上を支援する「自治体 DX 支援サービス」です。

本サービスは、2020年7月より富山県（道路課及び県内8土木事務所）で導入され、道路パトロール中の異状箇所、住民からの要望・苦情等情報、修繕工事の発注に必要な情報の一元管理および書類作成の自動化にご活用いただいています。

【道路パトロールクラウドサービス概要】



2021年7月7日

報道関係者各位

■富山県での導入効果

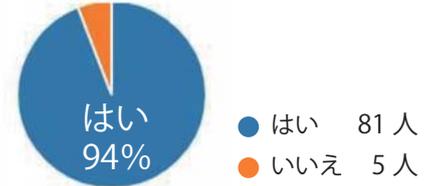
サービス導入後の満足度調査では9割以上のご利用者から、事務作業の負担軽減や迅速な情報共有が可能となり業務改善に結びついたとご回答いただきました。

富山県では、R3年度より本サービスを道路パトロールを委託している民間業者にも使用させており、本格的な民間活力を活用した道路維持管理業務の取組推進に活用されています。

Q. システムの満足度をお聞かせください (N=86)

★★★★☆

Q. システム導入により業務改善に結びつきましたか?



富山県サービス満足度調査結果
アンケート実施年月：2020年9月

■社会インフラ分野におけるDX取組

社会インフラ分野では、気候変動に伴う災害の激甚化や道路施設の老朽化、職員の減少、維持管理予算の縮小に加え、新型コロナウイルスを契機とした働き方の急速な転換など、社会情勢の激しい変化に対応するため、AI、クラウド、ドローン等の最新デジタル技術と3次元データ等を活用した社会インフラ管理に係る業務プロセスや働き方を改革する「インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション」が進められています。

社会インフラのデジタル化
(業務プロセスの変革)



ドローンや水中音響測深機による3次元測量
(非接触・リモートによる効率化)



クラウドを活用した日常点検データ管理
(データの電子化・一元管理による効率化)



AIを活用した異状検知・災害リスク情報予測
(熟練者の知識・経験伝承)

